群馬銀行グループの「パーパス経営」

私たちは「つなぐ」力で地域の未来をつむぎます

群馬銀行グループは2021年11月20日、「パーパス」を制定しました。多くの社会課題に直面するなか、「私たちは社会において何のために存在し、社会の未来に向けてどのような働きかけができるのか」という思いのもと、自分たちの存在意義を見つめ直し、パーパスとして定めました。

2025年4月よりスタートした新中期経営計画「Growth with “Purpose”」においては、前中期経営計画にて取り組んできた「パーパス経営」を、より高次元にしていきます。

パーパス浸透モデル

パーパス

制定の目的

- **判断軸の共有**
  社会的な存在意義であるパーパスを定めることで、当行グループおよび役職員の判断の軸を共有して変化に対応していくため。
- **一人ひとりの仕事のやりがい**
  業務が多様化・複雑化するなかで、パーパスを通じて、「なぜ自分はこの業務を行うのか」を明確にし、仕事のやりがいに繋げていくため。
- **ステークホルダーとの共感**
  対外への積極的なパーパスの発信やパーパスの体現を通じて、お客さま、地域社会、株主、役職員といったステークホルダーとの共感や信頼関係を、より高めて企業活動を行っていくため。

▼

各社・各部・各支店ごとの「目指す姿」

▼

各室・各係ごとの「方針」

▼

グループの全役職員ごとの「個人パーパス」

中期経営計画

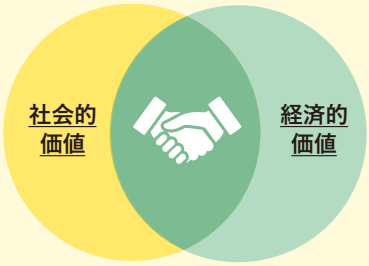
Growth with “Purpose”

パーパス経営を高次元にし3つの成長を目指す

お客さまや地域の成長
当行グループの成長
役職員一人ひとりの成長

基本方針Ⅰ

社会的価値・経済的価値の好循環の構築



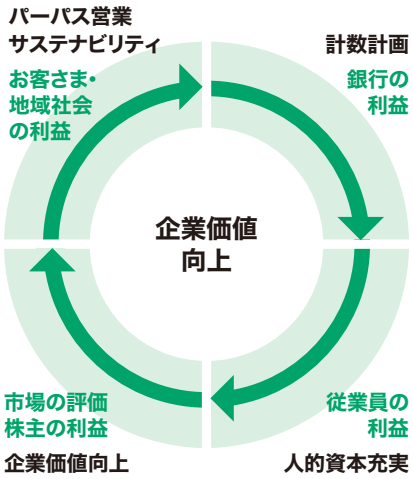
パーパスを具現化するモデル

＋

基本方針Ⅱ

持続的な成長を支える事業基盤の強化

アウトカム



4つの領域を同時に実現する

▼

地域社会と当行グループの持続的成長へ「目指す姿」

▼

パーパスの実現へ